Peppolが輝かせる「主役」たち ～コンフィック、デジタルインボイスの「自分ごと」化～

2025年11月５日、デジタル庁は、株式会社コンフィックとの間で、政府調達システム（GEPS）に対するデジタルインボイスでの請求について「振り返り」を行いました。

株式会社コンフィックは、デジタル庁が提供する共通情報検索システムの運用・保守等業務を請け負っており、その請求について、GEPSに対するデジタルインボイスにて請求を行いました。

「振り返り」では、齋藤氏より「当初、既存システムで対応するつもりでいた。ただ、そのためには上位サービスへのアップグレードが必要であることが判明した」との経緯の説明があり、「正直、追加のコストを負担してまでアップグレードする必要性はなかった。他方、デジタルインボイスは『体験』してみたかった。故に、デジタル庁からのサポートには感謝している。実際、海外の空港での搭乗待ちの時間に請求を行うことができた。」との話がありました。

それに対し、デジタル庁から「貴社（株式会社コンフィック）のような『とりあえずやってみたい』という思いが大事。引き続き、そのような『思い』を持つ事業者の方のデジタルインボイスの『自分ごと化』を後押ししていきたい」との発言がありました。

CONPHIC
株式会社コンフィック

株式会社コンフィック齋藤氏